

## 教員プロフィール

---

阿部 周造(アベ シュウゾウ)



### 職位

特任教授

### 専門分野

マーケティング論

### 講義科目

マーケティング  
マーケティング・リサーチ  
消費者行動論

### 経歴

1967年	明治大学商学部卒業
1972年	一橋大学大学院商学研究科博士課程単位取得
1972年-1974年	一橋大学商学部助手
1974年-1977年	日本大学経済学部専任講師
1977年-1979年	日本大学経済学部助教授
1979年-1987年	横浜国立大学経営学部助教授
1987年-2009年	横浜国立大学経営学部教授
2009年-現在	早稲田大学特任教授

### 対外活動

日本商業学会(99年～2000年度副会長、01年～02年度会長)

日本消費者行動研究学会(95年度会長)

Association for Consumer Research(Advisor, 94年～96年)

1997年～2000年 神奈川県大規模小売店審議会会長  
2000年～2003年 日本学術会議会員(第18期)  
1992年～2005年 Asian Journal of Marketing 編集委員  
2001年～2005年 『消費者行動研究』編集長

## 研究業績一覧

### 日本語

[https://www.wnp7.waseda.jp/Rdb/app/ip/ipi0211.html?lang\\_kbn=0&kensaku\\_no=5278](https://www.wnp7.waseda.jp/Rdb/app/ip/ipi0211.html?lang_kbn=0&kensaku_no=5278)

### 英語

[https://www.wnp7.waseda.jp/Rdb/app/ip/ipi0211.html?lang\\_kbn=1&kensaku\\_no=5278](https://www.wnp7.waseda.jp/Rdb/app/ip/ipi0211.html?lang_kbn=1&kensaku_no=5278)

## 主要著書一覧

- 著書「消費者行動」千倉書房、1978年
- 共著「新版マーケティング管理」千倉書房、1987
- 編著「消費者行動研究のニュー・ディレクションズ」関西学院大学出版、2001
- 共著論文"Cultural and Situational Contingencies and the Theory of Reasoned Action,"  
Journal of Consumer Psychology, Vol.9,No.2(2000), 97-106

## 研究テーマ

消費者行動の分析

## メッセージ

企業のマーケティング活動の成否の鍵となる消費者の行動について、担当するマーケターの経験を踏まえての直観も大切ですが、客観的な分析をあわせて行うことで、より確実性の高い意思決定につなげて、先の見えにくい時代のマーケティングの活性化に役立てたいと思います。